

本気で学ぶ 丈夫で 心豊かな 本庄っ子

ほんじょう



令和6年度 4月号
三田市立本庄小学校

HPにて「今月のほんじょう」掲載中 上のQRコードをご利用ください

新生！本庄小学校 6年度のスタートです！ 校長 藤田 洋子

4月に入り、桜が満開となりました。3月の卒業、職員の異動にあわせて、子どもの声が聞こえない春休みは本当に寂しいものですが、1日には3月末で離任した職員の後任として6名が着任いたしました。転入生1名と新入生8名を加えると、今年度の全校児童は42名。入学式を終え、本庄小学校が新たな一歩を踏み出しました。小規模校の良さは、全職員が子どもたち一人ひとりを理解し、学年を超えた指導ができることです。皆さまの期待に応えることができるよう職員一丸となって取り組んでまいります。子どもたちの心に寄り添い、保護者、地域の皆様の願いをしっかりと受け止め、本校教育活動に取り組みます。どうか、昨年度同様、皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。時には優しく、時には厳しく、子どもたちの成長を共に支えてまいりましょう。今年度も引き続き藤田が校長を務めさせていただきます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



職員紹介

校長	ふじた 洋子 藤田 洋子	兵庫型学習システム (5・6年複式対応)	もりた はるみ 森田 治美
教頭	おいけ まなぶ 小池 学	兵庫型学習システム (専科指導)	あだち あきこ 足立 明子
1年担任	はた いくこ 畑 郁子	養護	はまもと さきこ 濱本紗貴子
2年担任	すずき ゆうすけ 鈴木 雄介	事務	さかい ゆきみ 酒井有紀美
3・4年担任	なかさき けいすけ 中崎 啓介	校務	みやもと としろう 宮本 敏郎
5・6年担任	やまぐち あき 山口 映	学校司書 (学校図書館運営)	とくらま なみ 都倉真奈美
ほっとルーム1	あさだ かずこ 浅田 和子	SC スクールカウンセラー	つつい ゆうすけ 筒井 優介
ほっとルーム2	たにぐち ひろゆき 谷口 浩之	SSW スクールソーシャルワーカー	あさひ とおる 朝日 徹
音楽・外国語 3・4年複式対応	ふじわら あやか 藤原 綾香		

卒業式を経て、新たな世界へ
去る三月二十二日の卒業式では十一名が将来への夢やめざす自分を語り、本校を巣立っていききました。在校生も卒業生一人ひとりに向けての言葉や全校合唱でありがとうの気持ちを伝え、感動的な卒業式を行うことができました。また、四月八日、十日には中学校の入学式を終え、新たな第一歩を踏み出しました。

学校教育目標 「本気で学ぶ 丈夫で 心豊かな 本庄っ子の育成」

<めざす子ども像>

- 本気で学ぶ子（自ら学び続ける力 自分の考えを持ち発信する力）
学び方を体得し、主体的・対話的に学習に取り組む子
- 丈夫な子（生きる力 つまずいても立ち上がる、困難に立ち向かう力）
心身ともに強く、たくましく生きる力を身につけ、ねばり強く努力する子
- 心豊かな子（自尊感情 思いやりの心と共感する心）
命や人権を大切に、良さを見つけ、違いを認め合える子

学校経営方針「『よかった』がえられる本庄小学校」

- 児童「学んでよかった」
- 保護者「通わせてよかった」
- 地域「応援してよかった」
- 教職員「勤めてよかった」

長坂中学校区の目指す子ども像

「夢に向かって、たくましく歩み続ける児童生徒」



複式学級の編制について

令和6年度は3・4年生と5・6年生が複式学級となります。担任一人で担当するには困難な教科があるため、主に音楽専科や兵庫型学習システム複式学級対応の教員が一方の学年の教科指導を行ったり、担任と協力して2学年を複数人で授業したりします。詳細は、担任から学年だよりを通じてお知らせいたします。

複式学級を編制する上での最大のメリットは、上の学年の児童が下の学年の手本となり、互いを刺激しあえる点です。また、体育や音楽のような教科では活動の幅が広がります。そして、いまの教育に求められている対話によって学びを深めるという点においても人数を増やすことによって効果が上がります。さらに、複数の教師で関わることにより、子どもたちの小さな変化に気づき、いじめや不登校につながるような事案にスピード感をもって対応できると考えています。困難さも確かにありますが、できる限り教育効果を高めることができるよう努めてまいります。

「節のある竹と節のない竹、どちらが丈夫？」（始業式で…）

節があると強いと言われますが、本当にそうなのかな？どうすればそれが分かるのかな？子どもたちからはいろんな意見が出ましたが、少し難しいため、画用紙を竹に見立てて筒をつくり、節のあるものとないものそれぞれに重みを加えて、画用紙のひずみ方をみました。節のない筒は軽く力を加えただけでペタンコにつぶれてしまいました。節のある筒は、バインダーを上から乗せてもつぶれませんでした。薄っぺらなコピー用紙を節のように筒に貼っただけの簡単なものですが、強度の違いは明らかでした。入学式や卒業式といった大きな節目だけでなく、日常の中にある「節目」を感じながら生活することで、心や体は強く丈夫になっていくのではないかと考えています。薄い用紙も重ねれば厚みが増していくのと同じです。日常の積み重ねを大切にしたいものですね。

～～お知らせ～～

5月1日（水）に「1年生を迎える会」として縦割り班遠足を計画しています。当日は、縦割り班での異学年交流として校区内をめぐったり一緒に遊んだりして、1年生の歓迎会を行います。給食を止めますので、雨天の場合でもお弁当の用意をお願いいたします。活動の詳細は代表委員会で検討をします。また、当日の様子は、HP「今月のほんじょう」でもお伝えします。